

金沢市立夕日寺小学校 里山里地遠足

団体名●地域スポーツマネジメントゼミナール（西村ゼミナール）

代表者名●黒詰小夏（人間科学部スポーツ学科・3年）、西村貴之（人間科学部スポーツ学科・教授）

はじめに

この活動は、夕日寺小学校の6年生が、「自分たちが住む、夕日寺地区の里山里地の現状や抱えている課題に対して興味関心を持ち、自ら探求したい課題を見出し、我がまち『夕日寺』の未来について自分なりに考えること」を目的とした。現状を知り、今後夕日寺地区を守り続けるために何が必要で、何ができるのかを見つけ、探求することで、夕日寺についての理解を深めることを目指した。

また、小学校での探求的な学習の時間の学習カリキュラムの見直しにより、小学生自身の主体的な学習を構成する形となった。そこで、本活動では、学生主体から小学生主体の学びへと移行し、小学生が自ら課題を設定し、探究を進められるよう支援をすることを重視した。

活動内容

- 日程：① PJ メンバー下見：2025/8/20(水)
②事前学習(学生)：2025/9/16(火)
③日帰りバスツアー：2025/9/18(木)
④遠足ルート下見(学生)：2025/10/1(水)
⑤夕日寺遠足：2025/10/9(木)

参加：夕日寺小学校6年生 40名 本学学生 25名

協力団体：金沢市立夕日寺小学校、夕日寺フットバス実行委員会、夕日寺歴史研究会

内容：

- ① 遠足・日帰りバスツアーで行くポイントとなる場所の把握・確認を行なった。
- ② 本学学生で参加する者を対象とし、過去の活動、今年度からの活動方針、日帰りバスツアーの詳細についての説明を行った。
- ③ 小学生と一緒に、ポイント地点をバスで移動し、自分の興味や関心があることを見つける活動を行った。
- ④ 遠足当日のルートを学生が実際に歩き、危険箇所、間違えやすい場所、ポイント地点を把握し、小学生の安全を確保できるよう努めた。

- ⑤ 小学生が興味や関心を持った内容をふまえ、分野ごとにグループ分けを行い、小学生と学生で混合のグループを編成し里山里地の散策活動を行った。遠足当日のスケジュールは小学生自身が立案し、それに合わせて行動した。事前に入念な準備を行なったことで、怪我や事故なく活動を終えることができた。

成果、結果の考察

活動を終えて、小学生と大学生が交流を深め、夕日寺の里山里地に関する歴史や自然について共に学ぶ機会を持つことができた。また、小学生が主体となって活動を進めることで、自ら考え、行動する姿が多くみられた点は大きな成果だと考える。



遠足当日の集合写真



遠足中の様子

今後の課題、展望

今年度から小学校の新たなカリキュラムへの対応が求められ、大学生主体から小学生主体に移行した。学生は主に学びのサポート役として関わったが、「小学生の興味や関心を引き出す」ためには、これまで以上に学生個々人の予備知識やコミュニケーション能力が求められることになった。本活動を通して、学生が活動にどう向き合うべきかを見直す必要性を感じた。今後は、小学生の興味や関心に対応できる知識や視点を得て、歴史ある夕日寺地区を守り続けて行けるよう、活動に取り組む必要がある。